

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、尿路上皮癌またはその関連病変で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学教室では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

尿路上皮癌及びその関連病変における細胞極性にかかわる因子の解析

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 助教 高橋 祐一

3. 研究の目的

尿路上皮癌の多くは膀胱に発生する膀胱癌で、その頻度は人口 10 万人当たり 6.6 人程度と言われています。現在、低悪性度腫瘍群と比べ、高悪性度腫瘍群は再発率に差は見られませんが、腫瘍死の確率が有意に高いことが知られています。本研究は、尿路上皮の低悪性度腫瘍群と高悪性度腫瘍群との分子病理学的機構の違いを解明することを目的としており、今後、発癌のメカニズムや治療法の改善に寄与に繋がると期待されます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

尿路上皮癌及びその関連病変の患者さんで、2010 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの期間中に、病理診断がなされた患者

(2) 利用させて頂く情報

本研究で利用させて頂くデータは、臨床情報、病理学的所見、腫瘍細胞内の遺伝子や蛋白発現です。

(3) 方法

腫瘍細胞内の細胞極性に関連する因子の発現を、NGS 法や免疫染色法で測定します。さらに、測定した結果を臨床病理学的因子と関連させて解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

当院の講座研究費にて行います。明らかな利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 高橋 祐一

TEL：073-447-2300 FAX：073-444-5777

E-mail：y-taka@wakayama-med.ac.jp